# 第4回サイエンス・コ・ラボ　実験レポート

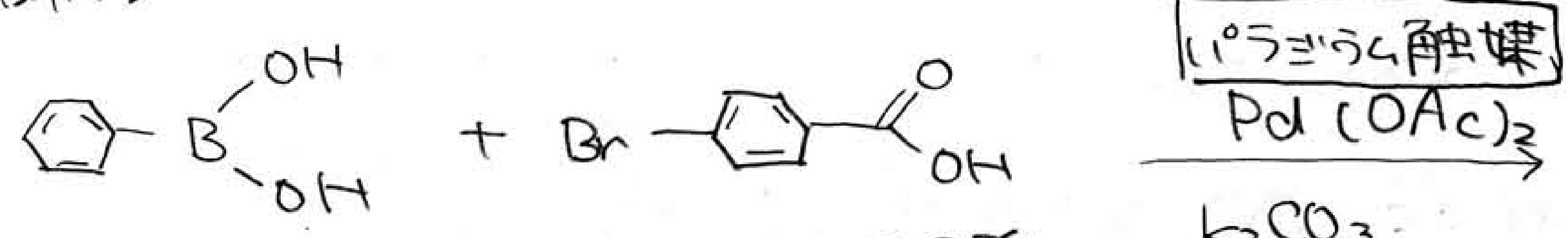
秀光＿＿年・特進1年　1組　24番　氏名　鈴谷和佳

| 期日 | 平成24年10月13日（土） | テーマ | クロスカップリング反応 |
|---|---|---|---|
| 場所 | 仙台育英 | 指導者 | 東北大学 |

1　実験記録（器材、手順、実験内容など）

＜反応＞

加えることで反応する。



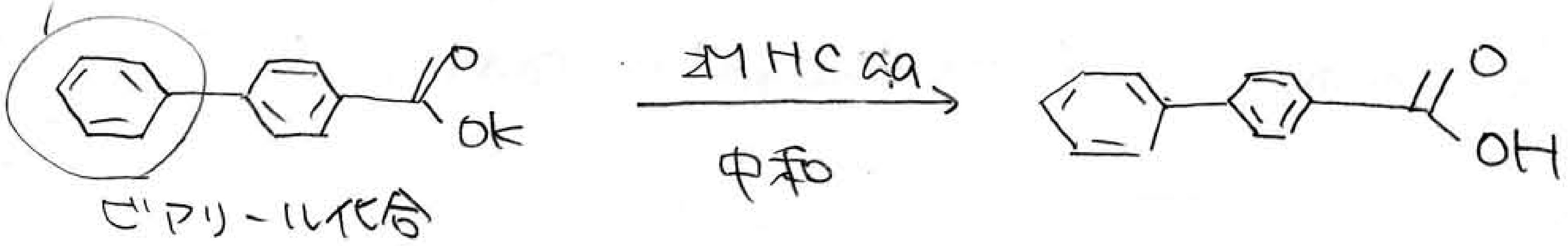

$K_2CO_3$
$H_2O$

フェニルボロン酸　無色

p-ブロモ安息香酸

炭酸カリウム水溶液（アルカリ水溶液）

油と同じで水にとけにくい。




ビアリール化合

43秒で反応

白色（カルピスみたい）

とけきれなかった粉が細かい固体となってでてくる。

とけきれなかったものが泡（メレンゲみたい）となってでてくる。

2　実験結果

① 実験から分かったことや疑問点

中和することによってとけきれなかったものが固体（泡）となってでてきた。

クロマトグラフィーは紫外線に反応する。→薬品があるところのみに反応する。

シリカゲルは水を吸着し、他の物質を吸着する。

② 興味深かった点

それぞれ薬品で見た目が全然ちがかったこと（食塩のようだったり小麦粉のようだったり）

Rf値（薬品がどれだけ流れやすいかを表した値）は薬品によって必ずきまった位置、形になるという点